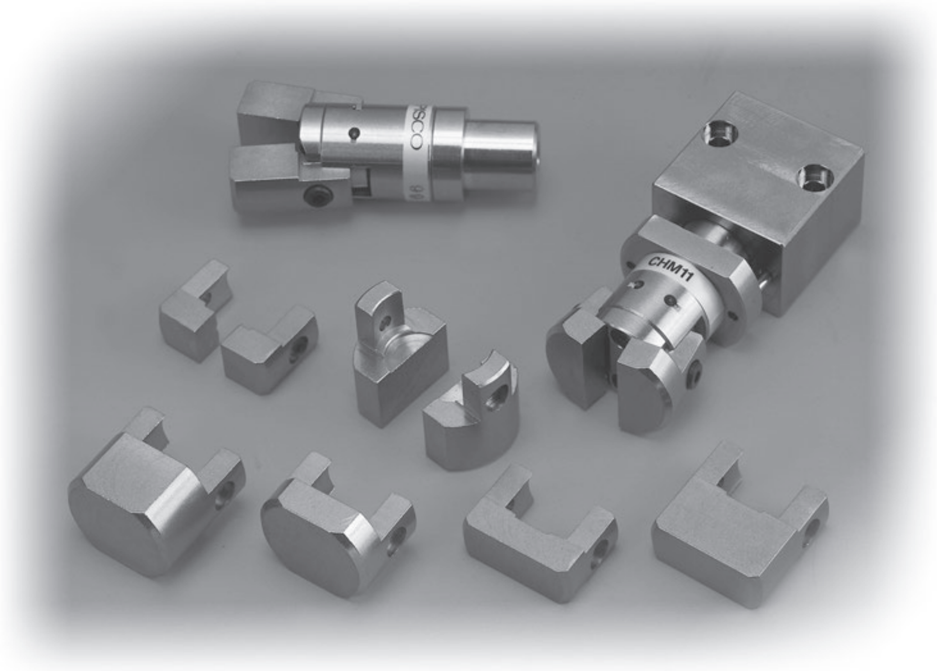


常時開タイプレバーチャック専用ツメ
ツメブランク

●ツメブランクとマスタツメとはRにて組み合わさる為、正確な芯出しが可能

●ワーク形状に合わせて加工が可能

●閉チャックに付属のワークストッパが不要の場合は取外し可能

●ツメが摩耗する場合は窒化処理が有効
ツメ材質：特殊ステンレス鋼

■ 注文形式（例）

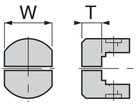
CHM 08 AK 11

- CHM：レバーチャック
- 08：① シリンダ径
- AK：装着チャック動作とツメ形状：AK(単動閉チャックのR合わせ１本ビス取付けタイプ)
- 11：② サイズ

①.シリンダ径

記　号	08	11
シリンダ径(mm)	ø08	ø11

②.サイズ



■シリンダ径 8mm の場合

記号							
記号	スリ割り有り	11	12	13	14	15	16
記号	スリ割り無し	01	02	03	04	05	06
W×Tサイズ(mm)		6×5	6×10	12×5	12×10	16×5	16×10

■シリンダ径 11mm の場合

記号					
記号	スリ割り有り	11	12	13	14
記号	スリ割り無し	01	02	03	04
W×Tサイズ(mm)		8×6	8×12	16×6	16×12

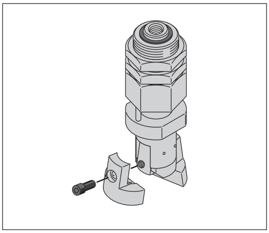
⚠ 個別注意事項

ご使用の前に必ずお読みください。安全上のご注意、掲載商品の注意事項については、P.27 ～ P.32、アクチュエータの共通注意事項については P.161、レバーチャックの共通注意事項については P.162 をご確認ください。

■ 接続部着脱方法

1. ツメブランク着脱方法

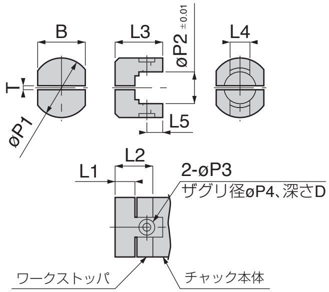
①. ツメブランクの着脱方法は、ツメブランクに付属されているネジを使用し適正な六角レンチで閉チャックに装着します。(付属のネジサイズは、シリンダ径8mm用がM2×0.4でシリンダ径11mm用がM2.5×0.45です。シリンダ径を間違って注文されますと装着不可となりますのでご注意ください。)



CHM K ツメブランク

RoHS対応

CAD -2D-



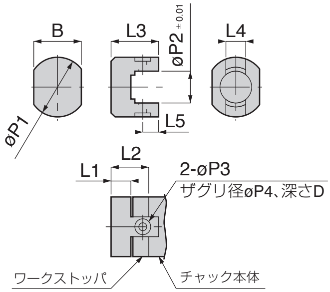
単位：mm

形　式	B	L1	L2	L3	L4	L5	T	øP1	øP2	øP3	øP4	D	取付ネジ(付属品)	適合チャック	質量(g)	CADファイル名
CHM08AK11	6	5	8	11.5	5	4	1	15	10	2.1	4	0.9	六角穴付ボルト M2×4ℓ 2本	CHM08A□K タイプ	4	ACC-004
CHM08AK12		10	13	16.5											7	
CHM08AK13	12	5	8	11.5											6.5	
CHM08AK14		10	13	16.5											12	
CHM08AK15	16	5	8	11.5				20				3.4			12	
CHM08AK16		10	13	16.5											22	
CHM11AK11	8	6	10	14.5	7	5.5	2	20	13	2.6	5	1.75	六角穴付ボルト M2.5×5ℓ 2本	CHM11A□K タイプ	8	
CHM11AK12		12	16	20.5											15	
CHM11AK13	16	6	10	14.5											13	
CHM11AK14		12	16	20.5											24	

CHM A K スリ割り無し一体ブランク

RoHS対応

CAD -2D-



単位：mm

形　式	B	L1	L2	L3	L4	L5	øP1	øP2	øP3	øP4	D	取付ネジ(付属品)	適合チャック	質量(g)	CADファイル名
CHM08AK01	6	5	8	11.5	5	4	15	10	2.1	4	0.9	六角穴付ボルト M2×4ℓ 2本	CHM08A□K タイプ	4.5	ACC-004
CHM08AK02		10	13	16.5										7.5	
CHM08AK03	12	5	8	11.5										7	
CHM08AK04		10	13	16.5										13	
CHM08AK05	16	5	8	11.5			20				3.4			13	
CHM08AK06		10	13	16.5										23	
CHM11AK01	8	6	10	14.5	7	5.5	20	13	2.6	5	1.75	六角穴付ボルト M2.5×5ℓ 2本	CHM11A□K タイプ	8.5	
CHM11AK02		12	16	20.5										16	
CHM11AK03	16	6	10	14.5										14	
CHM11AK04		12	16	20.5										29	

⚠ アクチュエータの共通注意事項

弊社製品の選定、及びご使用前に必ずお読みください。各シリーズ毎の詳細注意事項については、本文の個別注意事項、製品仕様をご確認ください。

⚠ 警告

1. アクチュエータの動作中には可動部にご注意ください。また、時に人体に危険を及ぼす恐れがある場合には保護カバーなどを取付け安全対策を施してください。

2. 電源、空気圧源のトラブルにより性能低下が生じ人体に危険、または機器に破損を及ぼす恐れがある場合には安全対策を施してください。

3. ドレンやゴミを取り除き清浄な空気を使用してください。圧縮空気中に含まれる不純物により作動不良の原因となる可能性があります。

4. 水滴、油滴、塵埃のかかる所では使用しないでください。作動不良の原因となる可能性があります。

5. アクチュエータの本体に過大な外力や衝撃を加えないでください。また、落下させないでください。本体の破損の原因となる可能性があります。

⚠ 注意

1. アクチュエータは無給油で使用できますが給油される場合、昭和シェル石油 アルバニアグリスNo.2をご使用ください。

⚠ レバーチャックの共通注意事項

弊社製品の選定、及びご使用前に必ずお読みください。各シリーズ毎の詳細注意事項については、本文の個別注意事項、製品仕様をご確認ください。

⚠ 警告

1. 閉チャックシリーズでワークを把持する場合、把持点により把持力が変わりますのでご注意ください。また、把持点がレバーチャックのレバー支点から長すぎツメが重いと寿命の低下や本体の破損の原因となりますので、このような使い方をされる場合は最寄りの営業所にお問い合わせください。

2. ワーク重量に対し把持力が充分に余裕のある機種をご使用ください。把持力不足によりワーク落下の原因となる危険性があります。

3. チャックは本文のワーク寸法表をよく確認し指定寸法内でご使用ください。寸法外で使用されると寿命の低下や把持不安定の原因となります。

4. マスタツメにツメブランクなどを取付ける際は、下表の締付けトルクを参照に適正な工具を使用しマスタツメとズレがないように取付けてください。下表の締付けトルク外やズレがある場合、作動不良や把持位置のズレやワークの落下の原因となる可能性があります。

●表.締付けトルク

ネジサイズ(mm)	締付けトルク
M2×0.4	0.6～0.8N·m
M2.5×0.45	1.3～1.5N·m

5. マスタツメに横荷重や衝撃が加わらないようにしてください。ツメの破壊や精度の低下の原因となります。

6. フローティング付タイプは、ストローク範囲内でご使用ください。ストローク以上の負荷を加えると本体の破損の原因となる可能性があります。

7. 開チャックシリーズのワークストッパーにて軽い圧入作業を行う場合、下表に圧入力以下でご使用ください。下表の値以上の力を加えると本体の破損の原因となります。

●表.圧入力

シリンダ径(mm)	圧入力
φ8	900N
φ11	1000N

8. フローティング付タイプのチャックを配管する際は、本体の外径六角部を必ず利用し適正な工具を使用して締付けてください。六角部以外を利用し締付けると本体の破損の原因となる可能性があります。

⚠ 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、弊社製品を正しくお使いいただくための注意事項で、人体の危害と財産への損害を未然に防ぐためのものです。

ISO 4414、及びJIS B 8370と併せて必ず守ってください。

ISO 4414：Pneumatic fluid power…General rules and safety requirements for system and their components.
JIS B 8370：空気圧－システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

注意事項は、取扱いをあやまった場合に発生する危害や損害の程度により、「危険」、「警告」、「注意」に区分しています。

⚠ 危険	明らかに危険な状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性があるもの。
⚠ 警告	使用状況により危険な状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性があるもの。
⚠ 注意	使用状況により危険な状態で、回避しないと軽いもしくは中程度の負傷を負う可能性がある。または財物の損害、損壊の可能性があるもの。

⚠ 警告

1. 空気圧機器の選定について
   ①. 空気圧機器の選定は、空気圧システム設計者、または仕様を決定する人など十分な知識と経験を持った人が判断してください。
   ②. 本カタログに掲載されている製品は、使用される条件が多様です。よってシステムへの適合性の決定は空気圧システム設計者、または仕様を決定する人など十分な知識と経験を持った人が必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。また、このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任となります。これ以降も最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮し、システムを構成してください。

2. 空気圧機器の取扱については十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
   ①. 圧縮空気は、取扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、十分な知識と経験を持った人が行ってください。

3. 機械・装置の取扱い、機器の取外しについては、安全を確認するまでは絶対に行わないでください。
   ①. 機械・装置の点検や整備は、ワークの落下防止処置や暴走防止装置などが設置されていることを確認してから行ってください。
   ②. 機器を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、圧縮空気の供給と該当する設備の電源を遮断し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。
   ③. 機械・装置を再起動する際は、飛出し防止処置が行われているか確認し、注意して行ってください。

※. この安全上の注意は、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

保証内容

当社の責任により本製品が故障を生じた場合次のいずれかの対応を速やかに実施させて頂きます。
①.本製品代替品の無償提供
②.本製品を弊社工場にて無償修理

免責事項

故障の原因が次の項目に該当する場合は、前記保証の適用範囲から除外させていただきます。
①.天災、当社の責任以外の火災、第３者による行為、お客様の故意または過失等による場合。
②.当社カタログ、取扱説明書に記載された仕様の範囲を超えて使用された場合、及び記載された以外の方法で使用された場合。
③.製品の改造によるもの、及び当社が関わっていない構造、性能、仕様の改変による場合。
④.納入当時に分かっていた評価項目、対策方法では予見できない事由に起因する場合。
⑤.本製品を貴社の機械・機器に組み込んで使用される際、貴社の機械・機器が通念上備えられている機能、構造を持っていれば回避できた事に起因する場合。

尚、前記保証は本製品単体での保証を意味するもので、本製品の故障により誘発される損害の賠償はご容赦ください。

⚠ 掲載商品の注意事項

弊社製品は一般産業機械用として設計製造されたものです。次の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 危険

1.次に示す用途では使用しないでください。
①.人命及び身体の維持・管理などを目的とする機器。
②.人の移動や搬送を目的とする機器。
③.特に安全を目的とする機器。

⚠ 警告

1.次に示す環境では使用しないでください。
①.各製品毎に記載されている仕様・条件以外での使用。
②.屋外、直射日光のあたる場所での使用。
③.過度の振動及び衝撃の加わる場所での使用。
④.腐蝕性ガス・引火性ガス・化学薬品・海水・水・水蒸気の雰囲気または付着する場所での使用。
※.但し、製品により使用できる場合もありますので、各製品ごとの仕様・条件などを参照してください。

2.製品の基本構造や性能・機能に関わる分解・改造は行わないでください。

3.ワンタッチ継手部の開放リングは、圧力がかかっているときには絶対に触れないでください。触れることにより、開放されチューブ抜けの原因となる危険性があります。

4.エアの切換作動頻度が激しいと本体が発熱する場合があります。熱による火傷の原因となる危険性があります。

5.製品に引っ張り、ねじり、曲げなどの負荷がかからないようにしてください。製品本体の破損の原因となる危険性があります。

6.ネジ側、またはチューブ側が揺動、または回転する場所でのご使用はロータリジョイント、ハイロータリジョイント、多回路ロータリブロック以外は使用しないでください。揺動、または回転により製品本体の破損の原因となる危険性があります。

7.60℃以上の温水、または熱媒体油でのご使用は金型温調継手、SUS316継手、SUS316締付継手、ブラス製締付継手以外の製品は使用しないでください。熱、及び加水分解により製品本体の破損の原因となる危険性があります。

8.静電気の散逸、帯電防止を必要とする場所ではEG仕様以外の製品は使用しないでください。静電気がシステムの不良や故障の原因となる危険性があります。

9.スパッタの発生する場所でのご使用はスパッタ仕様、ブラス仕様以外の製品は使用しないでください。スパッタにより、火災の原因となる危険性があります。

10. 製品に関わる保守点検などは供給している電源を切り、供給エアがゼロになったことを確認してから行ってください。また、安全を確保する為、次に示す内容を確認してください。
   ①. 保守点検は、本製品が関わる全てのシステムにおいて安全であることを確認してから行ってください。
   ②. 保守点検後の運転再開時には、空気圧機器を使用した装置・機械などの飛び出し防止処置などシステムの安全が確保されていることを確認し、注意して行ってください。
   ③. 回路設計時には保守点検に必要なメンテナンススペースを確保してください。

11. 使用流体の漏れにより機械、装置への損傷もしくは災害を引き起こす恐れがある場合には、予め保護カバーなどの安全対策を実施してください。

⚠ 注意

1. 配管の際、配管内のゴミやドレンを取り除き使用してください。ゴミやドレンがあると、周辺機器に入り込み故障の原因となる可能性があります。

2. ワンタッチ継手部に極軟質チューブを使用する際、装着する側のチューブ内径にインサートリングを必ず使用してください。使用しない場合は、チューブ抜け、漏れの原因となる可能性があります。

3. シールゴム材質、真空パッドのゴム材質、ガスケットにNBRを使用している製品は、オゾンの影響によりクラックが発生し、不具合に至る可能性があります。オゾンは、除電エア、クリーンルーム、高電圧モータなどの近くに通常より高濃度で存在しています。対策としては、HNBRやFKMなどへのゴム材質の変更が必要です。詳細につきましては、最寄りの営業所へお問い合わせください。

4. 禁油仕様品は、極微量の漏れが発生する場合があります。使用流体が液体の場合やシビアな要求のある使い方をされる場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。

5. 当社以外のブランドのチューブをご使用になる場合は、チューブ外径公差、チューブの硬度が次の表１の仕様を満足することをご確認ください。

●表１.　チューブ外径公差

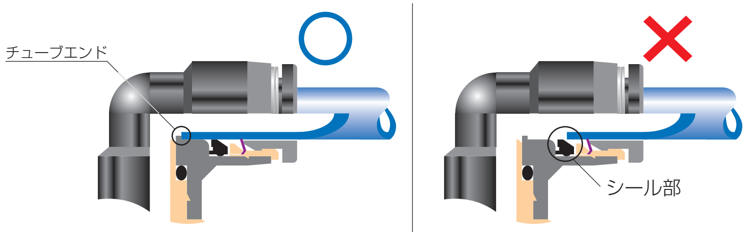
ミリサイズ	ナイロンチューブ (SHORE D63)	ウレタンチューブ (SHORE A98)
ø1.8mm	—	±0.05mm
ø2mm	—	±0.05mm
ø3mm	—	±0.15mm
ø4mm	±0.1mm	±0.15mm
ø6mm	±0.1mm	±0.15mm
ø8mm	±0.1mm	±0.15mm
ø10mm	±0.1mm	±0.15mm
ø12mm	±0.1mm	±0.15mm
ø16mm	±0.1mm	±0.15mm

インチサイズ	ナイロンチューブ (SHORE D63)	ウレタンチューブ (SHORE A98)
ø1/8	±0.1mm	±0.15mm
ø5/32	±0.1mm	±0.15mm
ø3/16	±0.1mm	±0.15mm
ø1/4	±0.1mm	±0.15mm
ø5/16	±0.1mm	±0.15mm
ø3/8	±0.1mm	±0.15mm
ø1/2	±0.1mm	±0.15mm
ø5/8	±0.1mm	±0.15mm

6. チューブ装着上の注意

①. チューブの切断面が直角に切断されていること、チューブ外径にキズがないこと、及びチューブが楕円していないことを確認してください。

②. チューブを装着する際、チューブがチューブエンド(下図参照)まで差し込まれていないと漏れの原因となる可能性があります。



チューブエンドまで差し込まれていない場合

③. 装着後、チューブを引いて抜けないことを確認してください。

※. チューブ装着時に、開放リング正面よりロック爪を観察するとロック爪が見え難いことがありますが、必ずチューブ抜けが発生するものではありません。チューブ抜けの原因として①ロック爪先端部のダレ、②チューブ外径異常(細い)が大半を占めております。よって、ロック爪が見え難いことがあってもチューブ装着上の注意①～③の手順に従って装着を行ってください。

7. チューブ開放上の注意

①. チューブを開放する際、チューブ内の圧力がゼロになっていることを確認してください。

②. 開放リングを均等に奥まで押し込み、チューブを手前に引き抜いてください。押し込みが不十分の場合、抜けなかったりまたはチューブが傷付き削りかすが継手内部に残る可能性があります。

8. 本体取付上の注意

①. 本体取付けは、継手の六角部、または内径六角部を利用し適正な工具を使用して締め付けてください。また、内径六角部に工具を挿し込む際には、工具とロック爪が接触しない様にご注意ください。ロック爪先端部の変形によりチューブの保持機能が低下し、チューブ抜けの原因となる可能性があります。

②. ネジを締め付ける際、表２の締付けトルクを参考に締め付けてください。表２の締付けトルク以上で締付けた場合、ネジ部の折れやガスケットの変形による漏れの原因となる可能性があります。表２の締付けトルク以下で締付けた場合、ネジ部の緩みや漏れの原因となる可能性があります。但し、シール性は取付け部の加工状態の影響を受けやすいため、状況に応じて取付け部の修正、締付けトルクによる調整を行ってください。

③. 締付け後、配管方向が変わらない製品は本体の締付けトルク範囲内で調整してください。

●表２　締付けトルク及びシーロック色、ガスケット材質

ネジ種類	ネジサイズ	締付けトルク	シーロック色	ガスケット材質
メートルネジ	M3×0.5	0.7N·m	—	SPCC+NBR SUS304+NBR
	M5×0.8	1.0～1.5N·m		
	M6×1	2~2.7N·m		
	M3×0.5	0.7N·m		POM
	M5×0.8	1～1.5N·m		
	M6×0.75	0.8～1N·m		
	M8×0.75	1～2N·m		
管用テーパネジ	R1/8	4.5～6.5N·m	白色	—
	R1/4	7～9N·m		
	R3/8	12.5～14.5N·m		
	R1/2	20～22N·m		
ユニファイネジ	No.10-32UNF	1.0～1.5N·m	—	SPCC+NBR、SUS304+NBR
一般アメリカ 管用テーパネジ	1/16-27NPT	4.5～6.5N·m	白色	—
	1/8-27NPT	4.5～6.5N·m		
	1/4-18NPT	7～9N·m		
	3/8-18NPT	12.5～14.5N·m		
	1/2-14NPT	20～22N·m		

※.製品により異なる場合がありますので、各製品の注意事項も併せてご覧ください。

④.ガスケットのクリープや歪みにより、ネジ部の締め付けに緩みが生じる可能性があります。定期的にネジの緩みの確認を行い、必要に応じて、締付けトルクにて増し締めを行ってください。

9.本体取外し上の注意

①.本体の取外しは、継手の外径六角部、または内径六角部を利用し適正な工具を使用して取外してください。また、内径六角部に工具を挿し込む際には、工具とロック爪が接触しない様にご注意ください。ロック爪先端部の変形によりチューブの保持機能が低下し、チューブ抜けの原因となる可能性があります。

②.取外した相手側のネジ部に付着しているシール剤を除去してください。シール剤が付着していると、周辺機器に入り込み故障の原因となる可能性があります。

10.継手とチューブにねじれ、引張り、モーメント荷重、振動、衝撃などが掛からないように配管してください。継手の破損やチューブのつぶれ、破裂、抜けなどの原因となります。

11.本体取扱い注意

①.落下などによる衝撃を与えますと、製品の破損や、漏れの原因となる可能性があります。